

関東信越国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞

近年の税金の動きと詳細

新発田市立 猿橋中学校 三年 廣瀬 結子 さん

「税金」は、どのように動いているか、皆さんは知っていますか。私は今まで税金の流れについてあまり考えた事がなく、そのため税金に関する知識を持っていませんでした。中学校の授業で税についての学習をして初めて知り驚いた仕組みも多く、税金は私達中学生にも、無関係では無いと知る事が出来ました。

私が税の勉強をして、一番驚いた事は公債金についてです。公債金とは、国がする借金の事です。税金を私達国民が税務署に納め、国はその税金を使って財政を行います。ところが、税金の歳入だけでは、国の財政を行うお金が足りず、国は借金をします。その借金が、公債金と呼ばれます。私が驚いたのは、公債金のお金を貸しているのは誰なのか、という点です。私はずっと、その公債金はほとんどが海外から借りているものだと思っていました。しかし調べてみると、公債金を主に貸しているのは、日本銀行や、その他の様々な金融機関だと分かりました。勿論海外から借りているお金もありましたが、割合で見ると、圧倒的に国内からの借金が多く、令和四年九月末のグラフを調べると、約八割以上が国内からの借金で、何兆という単位で借りていることが分かりました。公債金がとても多い事、大部分を国内から借りている事に、とても驚きました。

税の使われ方についても、初めて知った事が沢山ありました。年金や医療費などから、警察や義務教育の学費など、目に見えやすいもの、すぐに思いつかないものまで、沢山の物事に税金が使われていると分かりました。国の平和と安全、健康などは、税金によって支えられていると知る事が出来ました。

国への税金は国民が納めますが、その納税の種類も、様々なものがあると知りました。国の歳入の内六割以上を、令和六年度では税金が占めていて、その内主な税の種類は、所得税、法人税、消費税でした。私はとても多くの額の税金が納付されていると感じましたが、それでも、歳出と歳入のグラフを見ると、特に歳出が跳ね上がった二〇二〇年からは、歳出と歳入の差額が大きく離れていてとても驚きました。二〇二三年は、歳出に対する税収の額は、歳出の約半分程で、日本の財政は赤字だと知りました。

今回社会の授業で税についての勉強をして、税金の動きや財政の課題など、様々な事を学ぶ事が出来ました。今まで税について全く関心を持ってこなかったのも、税の使われ方や公債金などについて初めて得た知識も多くありました。私達中学生も、あと数年したら成人し、高校生になった段階で、バイトなどでお金を稼ぐ事も可能になります。今後お金を扱い、納税もするようになっていく中で、もっと税金や財政の事に関心を持ち、調べ、正確な知識を身につけていきたいと思いました。